

Handsome

36th

輝

その先へ

Leap ahead

Handsome CONTENTS

巻頭記事 1月新年例会開催

厄落としの会

特集 輝業紹介

輝賓室 株ケイズ 代表取締役
松本 啓OB(第23期ご卒業)

拝啓、会員様 ~北口会長のひとりごと~

◆ 発行人 / 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 北口 智明 ◆ スローガン / 輝 かがやき ◆ テーマ / その先へ~Leap ahead~
 ◆ 編集責任者 / 担当 副会長 岩田 剛 ◆ 制作・編集 第36期総務委員会 / 委員長 竹ノ内 賢一郎 ◆ 印刷所 / 東京印刷(株)

輝け！ 1月新年例会開催 (2011.1.17)

年初からの残雪の上に、さらに降り続く雪の中、米子全日空ホテルに於いて1月新年例会が開催された。

例会は、土岐会員による国歌独唱に始まり、山根直前県会長の祝射では、見事な中に会場は盛大な拍手に包まれた。

続いて紋付袴に身を包んだ北口会長の開会挨拶が行われた。

挨拶の中で、ご臨席頂いた来賓への謝意と、年末年始の豪雪被害を見舞うの言葉の後、下半期の抱負として、「いつの時代も西部中小企業青年中央会の会員は、常に自問自答をし、改革する気持ちを忘れることなく活動して参りました。あと半年。しかし、もう半年。100%の出席で中央会を進めていきたいと思えます。」と述べ、1月新年例会の幕が開けた。



平井伸治鳥取県知事の祝辞では「厳しい経済環境の中、

“その先へ”と企業・家族に華やぎをもたらすような使命を背負ってこう、という青年中央会の挑戦に、私も参加させて頂き、応援をしたいとも考えております。

年末年始にかけての大雪での被害発生にも、全国的には鳥取県には助け合う心があり、素晴らしい県だという声が聞こえてきました。

今、そんな鳥取県西部では、先を切り開く様々な企業や活動が増えてきているので、うさぎ年は未来を切り拓く年になるものと思っております。」とのお言葉を頂いた。

その後、宇佐見OB会長よりの祝辞に続いて、「輝け！」の掛け声で鏡開きが行われ、株式会社商工中央金庫米子支店西垣支店長のご発声で乾杯を行い、歓



談に移った。

歓談後は、まず輝委員会によるよさこいソーランで、熱気が高められた。そして、その会場に登場した、島根スサノオマジック・チアダンスチーム「アクア★マジック」によるチアダンスが、新年の始まりに最高潮の熱気と彩りを添えた。

熱気も冷めやらぬ中、中村勝治境港市長より「今日も皆さんから元気ももらいました。ありがとうございます。」とのお言葉とともに、一本で中締めが行われた。

最後に輝委員会浅中雅彦委員長が「本日は天候の悪い中、12名のご来賓と40名ものOB会員の方々に、お集まり頂いた事に非常に感謝していま



す。輝委員会メンバーはさきほどの踊りの練習を何カ月も前から続けて参りました。いろんな不具合もあ

りましたが、メンバー全員が力を出しきれた例会だったかと思います。

皆様のご協力で1月新年例会を成功させることが出来ました。本当にありがとうございました。」との挨拶で、1月新年例会の幕を閉じた。

フレッシュな輝委員会の活躍によって、第36期鳥取県西部中小企業青年中央会の「その先へ」跳躍の年となる下半期が始動した。

尚、当日は岡島・田中両新入会員へのバッジ授与も行われた。(記事:内田)

厄落としの会

平成23年1月22日(土)毎年恒例となる厄落としの会が勝田神社で開催されました。今年は前厄4名、本厄5名、後厄3名の12名が参加。

神事は氏名・生年月日の読み上げ後、玉串の奉納と続き滞りなく終了しました。

その後海潮園に場所を移し、オブザーバー4名を含む11名で懇親会(悪魔払いの会)が開催されました。

「厄払いはこの懇親会を無事終了するまで終わらない。」という河津県監事のあいさつで懇親会が始まりました。会場を用意してくださった中島OBも途中から参加され、楽しい時間をすごした後、数々の儀式が行われ、オブザーバーを代表して山本竜男OBが中締めのご挨拶をされ1年間の無事を祈り閉会となりました。

その後、場所を移して、長時間の二次会となり、OBや会員相互の懇親を深め、お開きとなりました。

中央会会員の中では厄落としの会=すさまじい会というイメージもあるようですが、会の内容は中央会らしく?紳士的な会であったと思いますので、是非来年も多くの会員が参加して頂ければと思います。
(記事:岩垣)



輝業紹介

お客様とともに・・・

三井生命保険(株) 山口早苗



三井生命保険(株)の仕事は、毎朝《お客様とともに》の信条を唱和する事から始まります。日本では90%以上の方が何らかの形で保険に加入しておられますが、内容を正確に把握されている方は意外と少ないんです。そこで私達は、1人でも多くのお客様に出会い、保障点検の機会を持ってもらう事を日々の仕事としています。また保険商品はお客様のライフスタイルの変化と共に進化しているので、勉強も大事な仕事です。経験も浅くわからない事が多いので、頼れる補佐からできる限り多くの事を吸収し、自分自身の知識とする為のミーティングは欠かせません。保険商品はお客様がご不幸な時にこそ、その力が発揮されます。『いつも頼れる保険屋さん』を目指して、少しでもお客様の痛みが和らぐように、担当が山口で良かったと思ってもらえるように、これこそ《お客様とともに》の精神だと思いがんばっています。

「販売促進のお手伝い」



合同印刷(株) 松田順次

合同印刷は創業43年になる総合印刷会社です。元々倒産しかけていた3つの会社を統合してできました。

ただ紙に印刷するだけではなく、お客様の想いや商品から聞こえるメッセージを色や形に変えて、「伝える」ということをモットーに、印刷という分野でお客様の販売促進のお手伝いをさせて頂いております。主に、チラシ、ポスター、パンフレットなど紙への印刷が中心ですが、他にもボールペンなどのノベルティー商品の受注を手掛けています。

お客様の多くは地元の企業様で地元企業の発展なくして合同印刷の発展もないと思ひ、弊社は全力で地元企業の販売促進に協力していきます。

また、プライムライフという広告パックの発行をしています。このプライムライフは、折込の集合チラシではなく、数社のチラシを1つの透明な封筒に入れて、市内約2万世帯にポストに配付するというものです。ターゲットを団塊の世代にし、他の集合チラシとは差別化をして発行しています。

地元企業の販売促進のために、日々努力していきますので宜しくお願いします。

委員会訪問 ～おじゃまんぼう～

輝委員会

1月28日、新たに配属先の委員会が決定した輝委員会の会員9名の壮行会が「旬門米子店」で開催された。浅中委員長は、「最初からわかってたことだが寂しいの一言。輝委員会の経験を活かせば、どんなことでも対処できる。委員会での経験を今後の中央会活動に活かして下さい。」後藤副会長は涙ながら、「、、、、、、。しっかりもまれて下さい。」北口会長からは、「環境が変わると思うけど、フレッシュさを活かして自信を持ってやって下さい。」とそれぞれ輝委員会を巣立っていく9名にエールを送った。配属先は以下の通り、「健康委員会」千石正信・



遠藤亨・松田順次「スポーツ振興委員会」稲田清「政治行政委員会」秋里武信「ビジネスメディア委員会」薬師寺重久・山内英樹「総務委員会」盛政春樹・石原効
(記事:内田)

知って得するビジネス用語

自己資本比率 ～自社の自己資本比率をご存知ですか？～

有和税理士事務所 有和 豊光 会員

自己資本比率とは、総資本に占める自己資本の割合。自己資本÷総資本×100で算出する。

企業の総資本は返済を必要としない自己資本(資本金、法定準備金、剰余金)と返済を必要とする他人資本(長・短期入金、社債等)に分けられる。自己資本比率が低いと、返済金や金利の負担が高いことになり、優良な企業体質といえない。

自己資本比率を高めるためには税引き後利益の蓄積である剰余金を増加させるか、固定資産や売上債権、在庫をコントロールして資産を減らす等の施策が必要となる。

評価の目安

理想的	70%～
優秀	40%～69%
普通	20%～39%
これから	0%～19%
債務超過	0%～19%未満

資産 総額 100	負債 総額 50
	純資産 50

上記の場合は自己資本比率は50%です。
純資産=自己資本

輝寶室

(株)ケイズ 代表取締役
松本 啓OB (第23期ご卒会)



今月は、株式会社ケイズ代表取締役 松本 啓OB (第23期ご卒会)に、ご自身の仕事観や中央会での思い出についてお話を伺った。

(コンピューター事業について)業績が伸び悩む中、一昨年アウトソーシングを立ち上げ稼働させた。企業が自社でサーバーを持つ時代からセンターサーバーを利用する時代へと変わりつつある。又、ユーザーにとっては大容量のサーバーを利用できるメリットやソフトを共有化によるコストダウン等のメリットがある。一方セキュリティにも万全を期しており、データの持出しのチェックするシステムも導入している。

関連会社でもある石油販売事業については、化石燃料は環境

問題の観点から減少傾向にあるが、企業や工場の需要があり、短いスパンで無くなるものではないので、お客様との信頼関係を築き、又、コミュニケーションをとる事が非常に重要である。

先日の大雪の際、琴浦町役場からの要請で、休日ではあったが、店の営業とガソリンの配達を行った。当社は社会貢献として行ったことではあるが、非常に感謝された。昨今、人とのコミュニケーションが不足している中、助け合う事の大切さを感じる事ができる出来事だった。

中央会の思い出については、入会した当初、委員会の感想を聞かれた際、正直に答えてしまい、当時の足立統一郎会長にご指導頂いたことを思い出す。「興味のない話でも耳を傾ける事が勉強で、後に自分の為になる事を教えてもらった」と語られた。

最後に現役会員へ

「自身の仕事が大切ではあるが、その中で時間を調整することが勉強であり会の活動に参画し、人と人とのつながりを大切にすることが自分の財産になる」と、メッセージを頂きました。お忙しい中訪問したにも関わらず、気さくにお話を聞かせて頂きました。松本OBありがとうございました。(記事:野口)

中央会をふりかえって… 内田 康彦 会員



中央会に入会して16年がたちました。平成7年の阪神淡路大震災の年の入会ですが、ついこの前のことのように。16年というと、自分自身も年を取ったと実感します。

当初入会したばかりの頃は、何もわからず先輩方に迷惑ばかりかけていました。

中央会に入会して一番の思い出は、県の海外研修や有志での海外研修です。委員会や例会にあまり出席できなかったわたしは、海外研修や全国大会だけは積極的に出席したことで、東部・中部の方とも多く知り合え、とても良かったです。何より、西部の方に誰だおまえ？と言われながらも、名前と顔を覚えて頂いた事が良かったです。

異業種の方とも知り合いになれ、人間の幅が広がる中央会は最高だと思います。

皆さんもがんばって中央会での思い出を作ってください。

中央会をふりかえって… 山根 宏典 会員



平成13年1月に中央会に入会し、今月で10年が経ちました。この会に入ってからというもの非常に忙しい毎日を送ったという記憶が蘇ってきます。

当時は、全ての行事に参加することを目標とし、何かを得ようとして必死に参加しました。今でも何かを得ようとする気持ちには変わりありませんし、10年間で非常に大きな物を得ました。けっして頭脳明晰な私ではなかったですが、県会長まで務めさせて頂き、また、周年事業や例会でのパフォーマンスをさせて頂いたのも、会員の皆様のお陰だと確信しております。これからも皆さんにはもっと「きずな」を深くしてもらい、中央会を盛り上げて欲しいと願っています。卒会してからもお付き合いの程お願い致します。



おすすめビジネス文庫紹介

紹介者: 渡辺 一徳 副会長



『財務3表一理解法』

國貞克則 著

私は以前、決算書の読み方や資金繰り表の作成方法を知りませんでした。そもそも会計というものに苦手意識を持っていました。経営者のトップとしてこれでは駄目だということで何冊も会計の本を読みましたが、十分に自分を満たす本に出会うことはありませんでした。そんな中、この本に出会って一気に全てが解決されました。この本には会計の基本的な仕組みをわかりやすく説明しています。また、損益計算書と貸借対照表、キャッシュフロー計算書の3表は繋がっているという事を具体例を使って解説しているのでひと目で理解出来るようになっています。これを読めば会議等で積極的に質問出来るようになり、金融機関の担当者とも対等に会話出来るようになると思われる。会計を理解出来なくて悩んでいる会員はぜひ一読下さい。

という事を具体例を使って解説しているのひと目で理解出来るようになっています。これを読めば会議等で積極的に質問出来るようになり、金融機関の担当者とも対等に会話出来るようになると思われる。会計を理解出来なくて悩んでいる会員はぜひ一読下さい。

2月例会に向けて



2月例会は2部構成で行う予定です。1部では、(株)山陰スポーツネットワークより取締役の宮下博行氏をお迎えしてスサノオマジックの展望についてご講演頂きます。

2部では、宮下氏に加え代表取締役の赤池大介氏と(株)SC鳥取より代表取締役の塚野真樹氏とゼネラルマネージャーの竹鼻快氏にもお越し頂いてディスカッション形式で行う予定です。同じ中海圏のプロスポーツチームとしての今後の連携について、我々企業との直接的な関り方やプロスポーツチームを活用したビジネスの事例など貴重なお話が聞けると思っていますので、多数のご参加お待ちしております。(スポーツ振興委員会 委員長 向井智之)

拝啓、会員様～北口会長のひとりごと～



スポーツチームなど、様々な組織にとって重要なことは何でしょうか。組織に入ると、リーダーからルールや方針などを聞き、チームメイトとコミュニケーションを取りながら、方向性を固めます。そして担った役割を理解し、徐々に目標意識を高め、準備を積み本番に備えます。ただし、早急に成果ばかり追い求めるとパフォーマンスに走りがちになり、次第に個人プレーが増え、チームバランスが悪くなってしまいます。成果も大切ですが、いかにメンバー同士がお互いを信じ、配慮し合う関係を築いてくのか、それが「チームワーク」であり、組織にとって最も重要なことであると思います。

凡庸でござんない!!

先日、毎年恒例の人間ドックへ行ってきました。年末年始、1年で最も肝臓を酷使したであろうこの時期をあえて選び毎年受診しています。で、結果ですが・・・私も御年41歳。以前より諸先輩からも「40を超えるといろいろ出てくるぞ!」と言われていた通り、昨年までは黒い数字が並んでいた判定シートに赤い数字がチラホラと(汗)受診後担当医に「食生活の改善(特に飲酒の量を減らす事)と適度な運動を。」とのありがた～いお言葉を頂戴し今年も無事?に終了しました。12月例会にもありました。健康第一!です。思い当たる節のある会員の皆様、会社の為、家族の為、是非年に1度の受診をお勧めします。(副会長:森脇 哲雄)

新入会員紹介

(輝委員会)



おか しま とち き
岡島 知樹

(有)岡島水産
水産加工業
〒684-0001 境港市清水町597
TEL 44-5858 FAX 42-6080
(KT) 080-2913-1114
(EM) info@okajimasuisan.com

B型
取締役

H23.01(H22年)入会
(推薦者) 宇野(昌)
手島(武)

S 52.3.26生

〈コメント〉

この度、1月に中央会に入会させて頂きました。(有)岡島水産の岡島知樹です。

中央会に早く馴染めるよう日々精励していきたく思います。

至らない所は多々あるとは思いますが、精一杯頑張っていきますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(輝委員会)



た な か ま き こ
田中 真紀子

山陰交通株 取締役専務
一般乗用旅客自動車運送事業
692-0011 安来市安来町1975
TEL 0854-27-7110 FAX 0854-27-7120
(KT) 090-2295-1217
(EM) saninkotsu2012@guitar.ocn.ne.jp

A型

取締役専務

H23.01(H22年)入会
(推薦者) 千石(正)
葉師寺(重)

S 48.2.22生

〈コメント〉

安来市と米子市で旅客自動車運送事業(タクシー業)を営んでおります。

地域振興活動に少しでも貢献したいという気持ちと、自分自身の成長のため入会を希望致しました。若輩者ではございますが皆様どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1 月度委員会報告

健康委員会

平成23年1月14日(金)於:焼肉うえば 出席者/13名
議題/・役員会報告
・今後の委員会活動について

スポーツ振興委員会

平成23年1月12日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/9名
議題/・役員会報告
・2月担当例会打ち合わせ

政治行政委員会

平成23年1月11日(火)於:米子コンベンションセンター 出席者/11名
議題/・役員会報告
・今後の委員会活動について
・3月例会について

ビジネスメディア委員会

平成23年1月12日(水)於:ぶどうの木 出席者/10名
議題/・役員会報告
・班別活動報告
・新商品開発についての意見交換

輝委員会

平成23年1月7日(金)於:米子食品会館 出席者/22名
議題/・役員会報告
・中央会に関して先輩会員(浅中委員長)より新入会員向けの説話
・新年例会打ち合わせ

総務委員会

平成23年1月12日(水)於:味わいジャパン米子支店 出席者/15名
議題/・役員会報告
・中海圏域他団体交流会について
・内規検証及びハンサム発行の件

2月役員会報告

2月役員会が平成23年2月1日(火)、米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・1月新年例会報告の件
- ・2月例会開催の件
- ・3月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

2月例会のご案内

と き:平成23年2月15日(火) 19:00~21:00

と ころ:ホテルサンルート米子2F 芙蓉の間

内 容:第1部 『スサノオマジックの展望』

講師:株山陰スポーツネットワーク

取締役統括マネージャー 宮下 博行氏

第2部 パネルディスカッション

『プロスポーツの活用とビジネスチャンス』

担 当:スポーツ振興委員会

編集後記

「雪の話はもううんざり。」そんな声も聞こえてきそうです。が・・・

中央会の何名かは、9号線の大渋滞に巻き込まれ、それぞれ大変な年末年始となった。そんな雪にも負けない位、今年の新年例会は「輝」を放っていた。下半期もより多くの「輝」を期待できそうだ。(内田)